

プロ野球の女性ファン特性に関する研究  
～ファン歴・行動・グッズ評価に着目して～

学生氏名 白川歩奈

指導教員 前田和範

## 研究背景

2024年プロ野球の観客動員数が史上最多となった。野球以外の事でも魅力を多くしてきており、若者の女性ファンが増加してきている。本研究ではコア層とライト層の女性ファンの特性の違いに着目し、様々な心理・行動特性をもとに明らかにしていく。

## 研究目的

本研究の目的は、チーム愛着と選手愛着の観点から、コア層のファンとライト層のファンの特性の違いを明らかにすることである。

## 研究方法

本研究では、プロ野球のオリックス・バファローズの女性ファンを対象としたオンライン調査を行った。個人属性、オリックス・バファローズのグッズに対する評価、選手愛着やチーム愛着について問う項目で質問を行い、すべての項目に回答した150名のオリックス・バファローズの女性ファンから、148名分の有効回答が得られ、それらを対象に分析を行った。

## 分析結果

グッズに対する評価はコア層・ライト層双方とも高い評価をした。ファン歴別で心理特性を比べたところ、ライト層はファンコミュニティIDと行動に関係が見られなかったが、コア層は、ファンコミュニティIDと行動の間に関係が見られ、コア層はファンとの繋がりを大切にし、それを行動に移すことが分かった。

## 考察・結論

本研究の結果から、ライト層向けのグッズもコア層から受け入れられていることが分かり、コア層もライト層もどちらも選手愛着・チームIDが高いことも分かった。コア層がファンとの繋がりを行動に移しているようにライト層がファンとの繋がりを行動に移せられるような戦略を検討していく必要がある。